

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	衣料品専門店 （経営者） 家電量販店（総 務担当）	単価の動き 販売量の動き	・ 今月は、ここ数か月の悪い流れが止まり、単価、客単価共に前年と比べて若干の上昇がみえている。 ・ 5月15日以降のエコポイント制度と気温の上昇で、エアコンを中心に売上が上昇傾向である。定額給付金の給付も本格的に始まり、1～3万円前後の商品の動きが良くなっている。
	変わらない	百貨店（営業担 当）	販売量の動き	・ 定額給付金による消費の刺激効果を期待する部分もあったが、エコポイント制度のスタートによる家電業界への注目の高まりもあってか、自社へのプラス効果は現れておらず、依然として衣料品や宝飾品などの動向における厳しさに変化はみられない。
		スーパー（販売 企画担当）	来客数の動き	・ 客単価は持ち直してきているが、来客数減が続いており売上も厳しい状況である。
		コンビニ（経営 者）	来客数の動き	・ 前半はゴールデンウィークで良かったが、後半は新型インフルエンザの影響で来客数が減っている。
		コンビニ（エリ ア担当）	単価の動き	・ 来客数が増加していても客単価は前年並みであることから、必要な物だけを買うという購買パターンが完全に定着している。暑ければ飲料やアイスを買ひ、風邪がはよればマスクを買うなど、その時に必要な物を買うだけである。
		通信会社（店 長）	販売量の動き	・ 販売量が横ばいで、良くも悪くもない状況が続いている。
		観光名所（職 員）	来客数の動き	・ 3か月前の2月は金融危機、国内企業のリストラで、今月は新型インフルエンザの流行に伴い施設利用者数は大幅に減少した。沖縄県への入域観光客数も前年同月比で大幅な落ち込みが予想される。来園者は修学旅行が中心である。
		ゴルフ場（経営 者）	単価の動き	・ ほとんどのコースが、低単価での集客を続けている。
		その他のサービ ス[レンタ カー]（営業担 当）	来客数の動き	・ 前月に引き続き今月も前年比で稼働率がマイナスとなっている。観光客の利用が減少している状況が今年に入って続いている。
	住宅販売会社 （商品開発担 当）	単価の動き	・ 現在も、最初にかかる費用を抑えるため、敷金無しや礼金無しの物件を求める客が多い。	
	やや悪く なっている	コンビニ（経営 者）	競争相手の様子	・ 新規の競合店の影響で、来客数が5%ほど落ちている。
		コンビニ（エリ ア担当）	お客様の様子	・ 今月は、修学旅行のキャンセルが関西地区を中心に発生し、観光地の店舗においては、大きなマイナス要因となっている。
		その他飲食[居 酒屋]（経営 者）	来客数の動き	・ 例年に比べて今年の連休は観光客がかなり減り、月前半が90%程度の来客数に終わっている。後半も新型インフルエンザの影響で例年の70%台に落ちている。また、連休後は財布のひもが固くなっている。
		旅行代理店（代 表取締役）	お客様の様子	・ 新型インフルエンザの影響で旅行や出張を自粛するところが多い。
		通信会社（店 長）	来客数の動き	・ ゴールデンウィーク終了後は来客数が極端に減っている。更に新商品発売前の買い控えもあり、6月後半までは厳しい時期が続く。
	悪く なっている	その他専門店 [楽器]（経営 者）	販売量の動き	・ ゴールデンウィークは前年を少し上回っていたが、その後は大幅な売上減になっている。新型インフルエンザの風評で、後半の最後の週は一段と厳しい状況に陥っている。
		その他専門店 [書籍]（店 長）	販売量の動き	・ 前年比で売上が1割減少している。近くに大手の競合店が出店してきたのが原因かと思われたが、若干の影響はあるものの大きな要因にはなっていない模様である。
		観光型ホテル （総支配人）	来客数の動き	・ 最も室料単価の高いゴールデンウィーク期間中の売上は前年比で10%増と好調であったが、新型インフルエンザによる修学旅行のキャンセルがあり、後半は伸びず、総売上においても85%と大幅に減少している。

企業 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	-	-	-
	変わらない	窯業土石業（経営者）	受注量や販売量の動き	・前月同様、新規工事予定物件が横ばいである。
		輸送業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・全体的に消費が落ち込んでいるなか、卸業、建築業、外食産業の物量は低い水準となっている。
		輸送業（代表者）	受注量や販売量の動き	・一段落していた公共工事の土木関連も、補正予算等でわずかに盛り上がっており、学校関係の建築工事も予想以上に続いている。
		通信業（営業担当）	取引先の様子	・3か月前も案件は無かったが、現在も契約案件は特に無い。
	やや悪く なっている	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新築及びリフォームの契約件数が減少している。
コピーサービス業（営業担当）		受注価格や販売価格の動き	・以前は取引先の公共機関から指名で見積合わせがあったが、最近はオープンカウンター方式でも見積可能なため、過大な値下げ競争が少なからず増えてきている。	
悪く なっている	-	-	-	
雇用 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	-	-	-
	変わらない やや悪く なっている	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・派遣依頼が極端に減少しているわけではないが、契約・採用に慎重になっているように感じる。また派遣労働者雇用安定化特別奨励金制度で、企業がもっと積極的に動くを期待していたものの、適用の制約が結構あり、反応が鈍い。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数の減少及び求職者の増加等から景気の不安定化が感じられる。先行きの不透明感から個人消費の手控え等、不安定要素が多々あり、改善傾向がみられない。
		学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・県内大手の採用試験が終わった後は、県内企業の採用活動が止まっている様子である。求人にも慎重になっている。
		民間職業紹介所（人材紹介担当）	周辺企業の様子	・取引先である居酒屋等の飲食業が閉店するなど飲食・サービス業の経営が厳しい印象を受ける。飲食業に関しては夏場に向けて更に厳しい状況が続く。
	悪く なっている	-	-	-